

シラバス

授 業 科 目	人体の構造と機能 I		
(英 文 名)	Morphology and Function of Human Body I		
担 当 教 員	田村 豊 他		
単 位 数 (期別)	2 (前)	対 象 学 生	1 P

■授業のねらい・概要■

本講義のねらいは、人体を構成する器官、および器官系の機能を学ぶことにある。これによりヒトの生命、あるいは健康がどのようなメカニズムで維持されているかを知り、次学年以降で学ぶ疾患を理解するための基礎知識を修得することを目標とする。

本講義は、すべての講義を4人の教員(田村 豊、西尾廣昭、佐藤英治、道原明宏)全員で担当する。すなわち、1学年を12のグループに分け、1人の教員が4つのグループを担当し、スモールグループディスカッション(SGD)を基本としたPBLチュートリアル方式により進めていく。【C8(1)、(3)、(5)】

■授業(学習)の到達目標■

人体を構成する器官の、位置、大きさ、機能について説明できる。また、器官系の機能についても説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 細胞の基本構造と機能を説明できる。
- 2 ヒトの体を構成する細胞について説明できる。
- 3 細胞、組織、器官について説明できる。
- 4 ヒトの身体を構成する器官の名称および体内での位置を説明できる。
- 5 ヒトの身体を構成する器官の形態および相対的な大きさを説明できる。
- 6 人の身体を構成する各器官の機能を概説できる。
- 7 中枢神経系構成と機能の概要を説明できる。
- 8 末梢神経系の構成と機能の概要を説明できる。
- 9 心臓の構造と機能を説明できる。
- 10 血管の構造と機能を説明できる。
- 11 血液循環について説明できる。
- 12 筋肉の構造と収縮機構を説明できる。
- 13 骨の種類と機能を説明できる。
- 14 神経系の代表的な疾患について概説できる。
- 15 循環器系の代表的な疾患について概説できる。

※なお、本講義は同時に開講されている生体機能調節Ⅰと連動して進行していく。

■成績評価の方法・基準■

討論の態度、自己学習内容、レポート、発表内容、質問回数、および試験により評価する。

■使用テキスト■

体の地図帳 高橋 長雄 講談社 ISBN:4-06-204169
(生体機能調節Ⅰ、人体の構造と機能Ⅱと共通で使用)

■参 考 書■

新訂目でみるからだのメカニズム 堺 章 (医学書院)

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日から金曜日は午後5時から午後8時まで 土曜日は午後1時から午後3時まで
----------------------------	---

シラバス

〈使用テキスト注文書〉

注) すべての項目をご記入下さい。

書名	体の地図帳
著者名	高橋 長雄
出版社名	講談社
ISBN・ISSN	ISBN:4-06-204169
予想部数	200部